

10月31日(土)

12:00 ~ 受付開始

11:10 ~ 12:10 世話人会「ティンバー」

12:10 ~ 12:20 休憩

12:20 ~ 12:30 開会の挨拶

セッション1 「基礎・病因」

12:30 ~ 13:20

座長:池上 博司(近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科)

安田 尚史(神戸大学大学院保健学研究科地域保健学健康科学分野)

1. NOD-Ipr/Iprマウスにおける高用量poly(I:C)投与による免疫寛容破綻の誘導

○若藤 諒¹⁾、清水まみ²⁾、井上雄斗³⁾、勝田敦美²⁾、安田尚史⁴⁾

1) 神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域健康科学分野 2) 神戸大学医学研究科総合内科学部門

3) 神戸大学保健学研究科地域保健学領域健康科学分野

4) 神戸大学大学院保健学研究科医学研究科総合内科学部門

2. IRF4遺伝子ヘテロ欠損NODマウスにおける自己免疫性糖尿病の高度抑制

○赤澤 諭¹⁾、古林正和¹⁾、三輪昌輝²⁾、川上 純³⁾、阿比留教生³⁾

1) 長崎大学保健・医療推進センター 2) 長崎大学病院生活習慣病予防診療部 3) 長崎大学病院第一内科

3. SR-A KO NODマウスのサイクロホスファミド投与モデルにおける1型糖尿病発症抑制の検討

○井上雄斗¹⁾、清水まみ²⁾、若藤 諒¹⁾、田上加奈子³⁾、西川みな帆³⁾、中村友佳³⁾、勝田敦美²⁾、安田尚史⁴⁾

1) 神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域健康科学分野

2) 神戸大学大学院医学研究科総合内科学部門 3) 神戸大学医学部保健学科検査技術科学専攻

4) 神戸大学大学院保健学研究科医学研究科総合内科学部門

4. ウイルス感染模倣モデルを用いた膵β細胞傷害機構の解析

○馬殿 恵、福井健司、細川吉弥、小澤純二、岩橋博見、今川彰久、下村伊一郎

大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科

5. 実験的ウイルス糖尿病自然感受性原因遺伝子の同定とそのメカニズム

○三根敬一郎^{1) 2)}、和泉賢一²⁾、井上芳隆²⁾、手嶋美穂²⁾、小川秀一郎²⁾、甲斐裕次²⁾、
蔵藤利暢²⁾、藤本秀士³⁾、栗崎宏憲²⁾、下田和哉⁴⁾、勝田 仁²⁾、永淵正法²⁾

1) 慶應義塾大学病院中央臨床検査部

2) 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野病態情報学

3) 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野生体情報学

4) 宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野

13:20 ~ 13:30 休憩

セッション2 「興味ある症例」

13:30 ~ 14:20

座長:永田 正男(高砂市民病院)

菊池 信行(横浜市立みなと赤十字病院小児科)

6. 薬剤性過敏症症候群に合併した劇症1型糖尿病症例における剖検脾の組織学的検討

○米田 祥¹⁾、今川彰久¹⁾、宇野 彩¹⁾、福井健司¹⁾、小澤純二¹⁾、弓岡稔貴²⁾、坂井 誠²⁾、岩橋博見¹⁾、
下村伊一郎¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学 2) 甲南病院内科

7. 同胞および母に1型糖尿病を発症した1家系

○伊奈雄二郎¹⁾、平田由起¹⁾、田中和子¹⁾、市野 功¹⁾、真弓武仁²⁾、川畑由美子³⁾、池上博司³⁾、
関口直孝¹⁾

1) 済生会福岡総合病院内科 2) 下関市立市民病院内科 3) 近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科

8. 発症時糖尿病性ケトアシドーシスに脳梗塞を合併した1型糖尿病の乳児例

○鈴木潤一、小田嶋仁美、田村豪良、峯 佑介、青木政子、奥野美佐子、浦上達彦、淵上達夫、
伊東正剛、河村研吾

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

9. GAD抗体強陽性で当初1A型糖尿病と考えられたが、後にLRBA遺伝子異常が同定された1例

○星加将吾¹⁾、加藤文代¹⁾、三宅直香¹⁾、松岡尚史¹⁾、角田達彦²⁾、久保充明²⁾、今井耕輔³⁾、森尾友宏³⁾、
杉原茂孝¹⁾

1) 東京女子医科大学東医療センター小児科

2) 理化学研究所統合生命医科学研究センター基盤技術開発研究グループ

3) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科発生発達病態学分野

10. 尿路奇形を合併し急激に発症したインスリン依存性糖尿病

ー 若年発症成人型糖尿病MODY5の一例 ー

○財前行宏¹⁾、依藤 亨²⁾、玉川信吉³⁾、天田浩司⁴⁾、金丸和浩⁵⁾、安藤ゆみ子⁶⁾、島津 章⁷⁾

1) 国立病院機構西別府病院内科 2) 大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科

3) 大阪市立総合医療センター遺伝子診療部 4) 国立病院機構西別府病院循環器科

5) 国立病院機構西別府病院臨床検査 6) 国立病院機構西別府病院放射線科

7) 国立病院機構京都医療センター臨床研究センター

14:20 ~ 14:30 休憩

シンポジウム1 「小児1型糖尿病のわが国における最新知見」

14:30 ~ 16:30

座長:川崎 英二(新古賀病院糖尿病センター)

横田 一郎(四国こどもとおとなの医療センター小児内分泌・代謝内科)

1. 小児1型糖尿病における甲状腺自己抗体の検討 —HLAとの関連も含めて—

○南谷幹史¹⁾、川村智行²⁾、向井徳男³⁾、望月貴博⁴⁾、中山将司⁵⁾、立川恵美子⁶⁾、河田泰定⁷⁾、横田一郎⁸⁾、杉原茂孝⁹⁾、小児インスリン治療研究会自己抗体研究グループ

- 1) 帝京大学ちば総合医療センター小児科
- 2) 大阪市立大学小児科
- 3) 旭川厚生病院小児科
- 4) 大阪いさつ病院小児科
- 5) もみのき病院小児科
- 6) 東京女子医科大学小児科
- 7) 九州労災病院小児科
- 8) 四国こどもとおとなの医療センター小児内分泌内科
- 9) 東京女子医科大学東医療センター小児科

2. 日本人小児1型糖尿病患者におけるZnT8抗体

○川村智行¹⁾、小児インスリン治療研究会自己抗体研究グループ、川崎英二²⁾

- 1) 大阪市立大学大学院発達小児医学教室
- 2) 長崎みなとメディカルセンター市民病院糖尿病代謝内科

3. 小児1型糖尿病の疾患感受性と血液型

○井原健二¹⁾、深野智華²⁾、戸田尚子²⁾、原 寿郎²⁾、綾部匡之³⁾、深見真紀³⁾、緒方 勤⁴⁾、雨宮 伸⁵⁾、杉原茂孝⁶⁾、小児インスリン治療研究会遺伝素因プロジェクトメンバー

- 1) 大分大学医学部小児科
- 2) 大九州大学大学院医学研究院成長発達医学(小児科学)
- 3) 独立行政法人国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部
- 4) 浜松医科大学小児科
- 5) 埼玉医科大学小児科
- 6) 東京女子医科大学東医療センター小児科

4. 小児1型糖尿病の低年齢発症に関連する遺伝素因と環境因子

○綾部匡之¹⁾、深見真紀¹⁾、浦上達彦²⁾、川村智行³⁾、菊池信行⁴⁾、緒方 勤⁵⁾、雨宮 伸⁶⁾、杉原茂孝⁷⁾、小児インスリン治療研究会遺伝素因プロジェクトメンバー

- 1) 国立研究開発法人国立成育医療研究センター分子内分泌研究部
- 2) 日本大学病院小児科
- 3) 大阪市立大学医学部附属病院小児科
- 4) 横浜市立みなと赤十字病院小児科
- 5) 浜松医科大学小児科
- 6) 埼玉医科大学小児科
- 7) 東京女子医科大学東医療センター小児科

5. 小児自己免疫性1型糖尿病の同胞の特徴についての解析

○竹本幸司¹⁾、綾部匡之²⁾、川村智行³⁾、浦上達彦⁴⁾、菊池信行⁵⁾、緒方 勤⁶⁾、雨宮 伸⁷⁾、杉原茂孝⁸⁾、小児インスリン治療研究会

- 1) 医療法人住友別子病院小児科小児科
- 2) 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部
- 3) 大阪市立大学小児科
- 4) 日本大学医学部小児科
- 5) 横浜市立みなと赤十字病院小児科
- 6) 浜松医科大学小児科
- 7) 埼玉医科大学小児科
- 8) 東京女子医科大学東医療センター小児科

6. 新規遺伝子解析技術を用いた1A型糖尿病感受性遺伝子の探索

○深見真紀¹⁾、奥野美佐子¹⁾、小児インスリン治療研究会

- 1) 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部

16:30 ~ 16:40 休憩

特別講演

16:40 ~ 17:40

座長:杉原 茂孝(東京女子医科大学東医療センター小児科)

「制御性T細胞と自己免疫疾患」

○大倉永也¹⁾、坂口志文²⁾

- 1) 大阪大学最先端医療イノベーションセンター・基礎腫瘍免疫学共同研究講座
- 2) 大阪大学免疫学フロンティア研究センター・実験免疫学

イブニングシンポジウム 「1型糖尿病研究最前線」

17:40 ~ 18:40

座長:花房 俊昭(大阪医科大学内科学I)

島田 朗(東京都済生会中央病院糖尿病・内分泌内科)

共催:日本イーライリリー株式会社

1. 劇症1型糖尿病の最新知見

○今川彰久¹⁾、花房俊昭²⁾

- 1) 大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学
- 2) 大阪医科大学内科学I

2. 急性発症1型糖尿病の病態、成因に関する最新知見

○及川洋一

東京都済生会中央病院糖尿病・内分泌内科

3. 緩徐進行1型糖尿病の新知見

○小林哲郎¹⁾、福井智康²⁾、神保江莉加¹⁾、八木橋操六³⁾

- 1) 冲中記念成人病研究所
- 2) 昭和大学内科学講座、糖尿病・代謝内分泌内科
- 3) 弘前大学大学院分子病理学講座

18:40 ~ 18:50 休憩

18:50 ~ 20:30 懇親会「プレミアムガーデン」